

2015年国際土壌年記念 巡回展

地味だけどスゴイ!

土のヒミツをときあかそう!

2015年5月30日(土)より
各地を巡回! (詳しくは裏面をご覧ください)

[主催] 埼玉県立川の博物館

[共催] 日本ペドロジー学会、一般社団法人日本土壌肥料学会

[後援] 国立研究開発法人 農業環境技術研究所、日本土壌動物学会

[協賛] 公益社団法人 日本左官会議

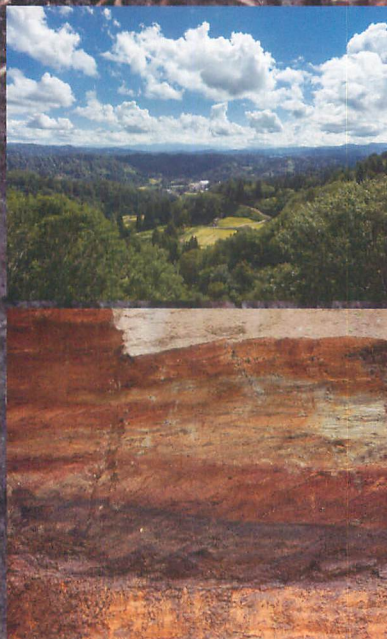
[協力] INAX ライブミュージアム (LIXIL グループ)、眞藤憲政、鈴木忠 (慶應義塾大学生物学教室)、

鈴木智也 (信州大学理学部 アソシエイト研究員)、福島軸薬株式会社、宮本卓也、

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (順不同・敬称略)

なんだ 土

ろ う ? て



埼玉県立川の博物館 [埼玉県寄居町] → 2015年5月30日(土) → 6月21日(日) / 東京農工大学科学博物館 [東京都小金井市] → 2015年6月27日(土) → 7月11日(土) / 大昆虫展 in 東京スカイツリータウン (スペース 634) [東京都墨田区] → 2015年7月18日(土) → 8月25日(火)



地味だけどスゴイ! 土のヒミツをときあかさう!

スプーン一杯の土の中に、どれだけの生き物がいるのでしょうか? そこには微生物(目には見えない、とても小さな生き物)が数億から数十億。他にもさまざまな生き物がたくさんいます。そんな土はいったいどのようにできるのでしょうか?

2014年9月に御嶽山が噴火をおこしました。その噴火により火山灰が降り積もった場所は、土が“ない”状態で、生き物もいません。そこから長い時間をかけて、土が“できる”のです。ではどのくらいの時間がたてば、土になるのでしょうか。土が1cmできるのに100年とも言われます。長い時間をかけてできる土ですが、その土が私たちが食べる作物を含む植物を育て、ひいては動物を育むのです。地味だけどすごい土の不思議や力を感じて、土ってなんだろう? の答えを一つでもみつけてほしいと願っています。

2015年国際土壌年記念 巡回展

国際土壌年とは
Healthy Soils for a Healthy life

2013年12月に開催された国連総会で、2015年の国際年を「国際土壌年」と決めました。国連は一年を通して特定のテーマを決め、社会の関心を起こすための呼びかけ、および取り組みを促すために「国際年」を制定していますが、2015年のテーマを「土壌」にしました。土壌は農業や生態系の基本的な機能、そして食糧安全保障の基盤として、地球上の生命を維持するためになくてはならない要の存在です。さらに土壌には経済成長、生物多様性、持続可能な農業と食料の保障、貧困撲滅など世界のさまざまな問題を解決する能力や可能性が秘められています。この土壌を正しく認識し、適切に管理し、守っていくことが国際土壌年を機に私たちに求められています。



なんだろう? 土



【開催場所】

埼玉県立川の博物館

2015年5月30日(土)→6月21日(日)

[住所] 埼玉県大里郡寄居町小園39 [電話] 048-581-7333 [開館時間] 9:00~17:00 [休館日] 月曜 [交通] 東武東上線「鉢形駅」より徒歩20分/「寄居駅」よりタクシーで7分 関越自動車道「花園IC」より約8分

東京農工大学科学博物館

2015年6月27日(土)→7月11日(土)

[住所] 東京都小金井市中町2-24-16 [電話] 042-388-7163 [開館時間] 10:00~17:00 [休館日] 日曜、月曜、祝日 [交通] JR中央線「東小金井駅」南口より徒歩10分、JR中央線「武蔵小金井駅」南口よりCoCoバス(中町循環)で「農工大前」下車

大昆虫展 in 東京スカイツリータウン(スペース634)

2015年7月18日(土)→8月25日(火) ※部分展示

[住所] 東京都墨田区押上1-1-2 [開館時間] 10:00~18:00 [交通] 東武スカイツリーライン「東京スカイツリー駅」/京成押上線都営浅草線・東京メトロ半蔵門線「押上(スカイツリー前)駅」

土の中の小さな生き物たち

トビムシ、クマムシ、ダンゴムシ、ミミズや、目には見えない微生物たちを写真・標本・映像で紹介いたします。

土はどうやってできるの?

土ができてくる様子や粘土の正体を、モノリス(土壌の実物標本)や模型で解説していきます。

さまざまな土

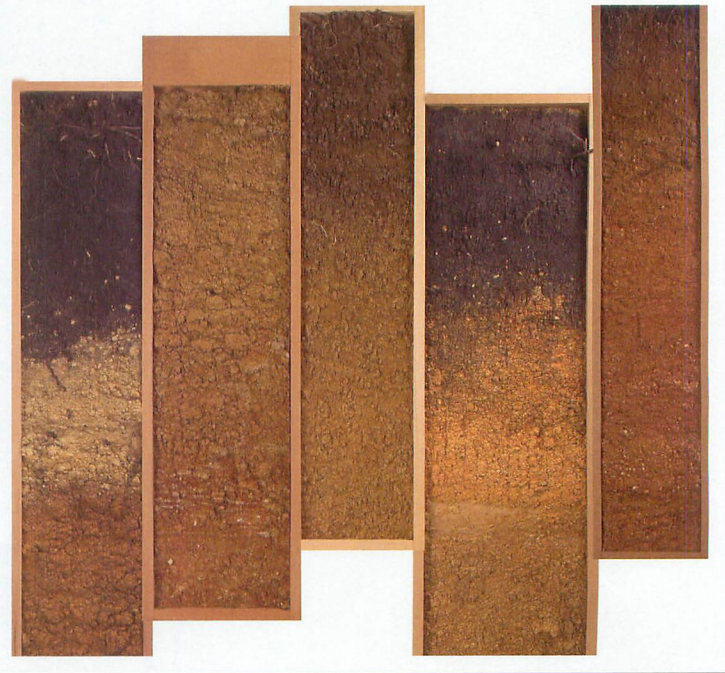
土にはたくさんの種類があります。日本のさまざまな土をモノリスで、世界の珍しい土を写真で紹介いたします。

土がふかふかな訳は?

やわらかい土、かたい土。土の特徴を、実物の「団粒構造」や標本を使って解説します。

土と世界のつながり

土はやきものになるなど私たちの生活や、身の回りの自然(水や大気)と深いつながりがあります。その関係を見せていきます。



埼玉県立川の博物館 イベント

光る! 泥だんごづくり

ぴかぴか光る泥だんごづくりをタネを丸めるところから行います。特別に用意した材料でつくるスペシャル泥だんごです。

[開催日時] 5月30日(土) 13:30~15:30 [参加費] 800円(材料費)、要申込

ミニモノリス(土壌標本)をつくろう

土の断面を縮小して再現してみます。アート作品のようなミニモノリスができます。

[開催日時] 6月6日(土) 13:30~15:30 [参加費] 200円(材料費)、要申込

泥染めに挑戦

土壌を使って布を染めます。赤い土や黒い土を使ってどのような染色ができるのか、お楽しみに!

[開催日時] 6月13日(土) 13:30~15:30 [参加費] 200円(材料費)、要申込

土の呼吸を調べよう

土は私たちと同じように呼吸しています。どのくらい息をしているのか、講師を招いて実験のデモンストラーションと解説を行います。

[開催日時] 6月14日(日) 13:30~15:30 [参加費] 無料、申込不要

土の秘密を調べよう

企画展の特別解説や簡単な実験を行います。

[開催日時] 6月21日(日) 13:30~15:30 [参加費] 無料、申込不要
申込はイベントの1か月前より受け付けます。(住所・氏名・電話番号を明記してください)
TEL: 048-581-7333 FAX: 048-581-7332 Eメール: web-master@river-museum.jp

東京農工大学科学博物館 イベント

国際土壌年記念巡回展「土ってなんだろう?」関連講演会

身近な土を活かして使う

[講師] 浜田竜之介(東京農工大学名誉教授) [開催日時] 7月4日(土) 13:30~15:00
[参加費] 無料、申込不要 [講演場所] 東京農工大学科学博物館3階講堂

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2015

大平和正
[風還元 球体 01]

「Soil Museum もぐらの館」

2015年7月26日(日)→9月13日(日)

[住所] 新潟県十日町市東下組 [交通] 電車で、東京駅から2時間、大阪駅から約4時間50分/車で、東京から3時間/大阪から約6時間
土の魅力を知りつくした9組の現代美術家、陶芸家、建築家、左官職人、写真家のつくる土をテーマにした作品を展示します。世界の土壌モノリスも多数展示します。

